



# みどりの風

公益財団法人  
 奈良市生涯学習財団 月ヶ瀬公民館  
 奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地  
 TEL&FAX 0743-92-0346  
 発行人 館長 上田 善紀  
 発行日 平成29年2月8日(水) 第11号

## おはなし会ふゆ

〜かじい月ヶ瀬こども〜



1月28日(土) 最終回となる5回目の「おはなし会」を行いました。読み聞かせのほか、パネルシアターやペープサー、紙芝居、それにちよつとしたペーパーフラットなど、いつものようにバラエティ豊かな趣向で子どもたちを楽しませてくれました。

■西浦 美保子さんの話…小さな子どもさんから小学生までまでくねくねの年齢差があっても対応できるように、毎回考慮して題材を選んでいます。

最近では、多くの保育園や幼稚園でも視覚だけで反応する子どもが多く、聴覚でイメージを描くという声を多く聞きます。来年度は、より多くの子どもを元気に来てもらいたいと思っています。私たちもしっかりと勉強を続けていきます。



ストーリーに合わせてリンゴをパコーン

西浦 美保子さん ※前回12月の写真

## 来年度も、ぜひ参加ください

来年度も、おはなし会を5回、予定しています。「だっこ」の皆さんには、毎回、趣向をこらして絵本の読み聞かせをしていただきます。

幼児〜小学中学年のお子さんをもつ保護者の皆さんには、読み聞かせの大切さを理解していただき、一人でも多くの子どもたちに来て楽しんでもらいたいと思っています。

### 絵本の読み聞かせは

▽「語彙爆発」(心理学用語)するといわれている幼児期では、多くの言葉を獲得する絶好の機会となります。

※語彙爆発…単語をよく覚え、単語と単語をつなげて文として話すようになること。幼児期に培った切な力です。

▽物語の内容を想像するスピードが早くなり、頭の中でイメージを描けるようになります。

▽小学生になって一人で本が読める基礎になります。

※毎日、10分以上読書をすすめるのは、読解力が高いという、文科省の調査データがあります。

▽「聞く力」がしくとともに、幼児期に美しい日本語を耳から獲得することによって表現力が豊かになります。

幼児・児童期に大切な時間です。



## 今月の巻

小谷ますみ・選

寒卵割ればニッや福の年

ちやんちやん(昭和を生きた漢) (まこと)です

初春の明るく空に願う

もつほむは寒の三日月首里

笛鳴きや庭の大石めざめ

足つらにぎの弾力口脚伸び

和代

月城

昭子

かつ野

すま

雍子

(月ヶ瀬1月巻の)



表情ゆたかに子どもたちに語りかける

小川 富士子さん



子どもたちとひざをつき合わせて…

上田 由姫子さん

## 月ヶ瀬薫風

〜この間、

お正月を迎え  
 たと思つたら  
 もう2月も半  
 ばつたりまし

た。にわかに、活気  
 づく月ヶ瀬です▼

「愛歩(あいほ)21」  
 について徳家(とくや)  
 んから教わりまし

た。空き缶を回収す  
 る地域ボランティア  
 の集まりなんです

ね。月1回、2人ず  
 つが石打と桃香野を  
 を回って回収して

だつている延べ  
 48人の方々です。他  
 地区は中学校の先生

方が汗を流してくだ  
 さつています▼また  
 つびした空き缶を業

者に渡して換金する  
 搬入ボランティアの  
 皆さんもいらつしゃ

います▼村あげての  
 この福祉活動は、こ  
 うした方たちのため

みない努力によって  
 21年間という道の  
 長い活動を支えてい

ることに、深い敬意  
 をいただきます。

「こんな講座をします」

〜梅溪めぐりと文人たち〜

今年度最終となる館主催講座、

「月ヶ瀬梅溪と富岡鉄斎」を3月14日(水)に実施します。観光会館をスタートして代官坂を上り、天神梅林から帆浦梅林を巡る往復約3kmのコースです。案内役の稲葉耕一さん(石打)を案内役として、道々楽しい解説を交える散策をします。富岡鉄斎は、明治〜大正に活躍した、世界的に知られた画家です。たびたび月ヶ瀬を訪れた鉄斎の足跡(あしあと)をたどります。



「公民館って、どんなところ？」

(謝)奈良市生涯学習財団主催の公民館と一般市民との対話集会を行います。ユーモアたっぷりの講演のほか、様々な話題についておしゃべりをする会です。お気軽にご参加ください。参加ご希望の方は、公民館まで連絡をしてください。

- 時…3月11日(土) 14時〜16時
- 所…中部公民館
- 対象…成人 100人
- 詳しい問合せ…中部公民館

0742-26-6506

こんな行事がありました

第21回社会福祉フェスティバル

〜月ヶ瀬地区社会福祉協議会主催〜



2月3日(金)、第21回社会福祉フェスティバルがあり、月ヶ瀬中学校生徒会によるアルミ缶回収報告会と、その収益で購入した車いすや歩行器などを社会福祉協議会と香梅苑へ贈る贈呈式、さらには記念講演がありました。

■徳家 眞さん(月ヶ瀬地区社協会長)の話…取り組み始めて21年目となる他地域に誇れる学校と地域が連携した福祉活動です。これまで123台もの福祉機器を月ヶ瀬中学校から贈っていただいています。彼らによって立派な社会人に育っていく豊かな土壌になっていると思っています。ねぎらいと感謝の気持ちを込めて受け取りました。



シャワーチェアを贈る岡沼拓実さんと感謝の言葉をかける徳家 眞さん。

月ヶ瀬小・中学生のみなさんへ

本や新聞を読む習慣を

〜A-に使われない学力を〜

人工知能(A-)の話題を耳にすることが多くなりました。プロの超一流棋士がA-に敗れたニュース、人と会話ができるかわいロボットのパピー君、車の自動運転のCMなど、小中学生のみならず、「あつ、知ってる」といえるような話題がありますね。人間にとってつかうかできない時代が近づいてきているようにも思えます。A-にとって代えられるためになくなってしまふ職業も少なくないようですから…。

「東ロボ」の開発と不得手なこと

1月の日付け読売新聞に、「東ロボ」の研究をしている新井紀子氏(国立情報学研究所教授)のお話が掲載されていました。「東ロボ」とは、東大に入れる知能を持つロボットを開発する計画です。今のところ、有名私立大学の入試を突破できるというまでにつけてきたというようです。しかし、暗記と手順とおりの作業が得意なA-は、ある程度の長さを持った文章を理解して読み解くことがきわめて苦手というところがわかってきたという事です。

読解力が低下している中高生

ところが、同時にその「東ロボ」に読解力で劣る中高生がたくさんいることも判明しました。

これは、ツイッターなどごく短い情報や思いつきをやりとりするラインなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキングサービス)を使用することの弊害だと、新井紀子氏は警告しています。そして、家の中に新聞や本のない家庭が増え、スマホの画面ばかりを見る生活の中で、論理的に構成された文章にほとんど接していない子どもが多いのだと新井紀子氏は指摘しています。

今の小・中学生である皆さん

が、大人になって様々な仕事につきますが、その時、A-を使っ側になるか、A-に使われる側になるかは、しっかりと考え、それを文章で表現できる学力を備えるかどうかがかわってくるように思われます。第7号でも触れていますが、本や新聞を読む習慣を、ぜひつけていってください。

ある調査機関が発表した「あと10年で消える職業」は、スポーツの審判、動物フリーター、ネイリスト、レジ係、アナウンサー、小学校の教員、小児科医…。